

令和6年 11月 1日(金) 中央学校給食センター

【献立名】 長崎のにんじんごはん 牛乳 きびなごの南蛮漬け
小松菜のごま和え ヒカド



【ひとロメモ】

長崎県の料理を味わおう

(食文化)

長崎県は、九州の北部に位置し、壱岐、対馬、五島列島など、多くの島があります。織田信長などの武将が活躍した戦国時代にはポルトガルやスペインとの貿易が栄え、外国から伝わった洋風の文化が南蛮文化とよばれ広まりました。江戸時代に鎖国の時代となった後も、長崎県だけには中国とオランダの貿易船の出入りが認められていました。そのため、長崎県では外国の文化をうまく取り入れた独自の文化が発展し、食文化にも影響を与えました。

長崎県ではにんじんやきびなごが多くとれます。今日の給食では、にんじんごはん、きびなごの南蛮漬けとして取り入れています。また、「ヒカド」は長崎県の郷土料理です。「ヒカド」とはポルトガル語で「物を細かく刻む」という意味で、具を細かく刻み、すりおろしたさつまいもでとろみをつけた汁物です。給食では、さつまいもも具の一つとして加えています。

外国との文化交流で生まれた長崎県の郷土料理を味わいましょう。

令和6年 11月 1日(金) 第二学校給食センター

(献立名) 焼きとり丼 牛乳 元気サラダ
豆腐のすまし汁 すだちゼリー



【ひとロメモ】

感謝して食べよう

(勤労と感謝)

食事の時のあいさつ「いただきます」や「ごちそうさまでした」とは、命ある食べ物をいただくことや、収穫や調理をしてくれた人に感謝の気持ちをこめてという言葉です。

人間は、自然界の動物や植物の命を食べることで生きています。また、農家の方が農作物を育てて収穫したり、漁業に携わる人が魚介をとったり、配達をする人が安全に気をつけて運んだりするなど、私たちに食品が届くまでに多くの人たちがかかわっています。

今日は城南小学校のリクエスト献立です。材料は、米やとり肉、キャベツなどの野菜、全部で18種類使いました。食べ物、関わった人に感謝していただきましょう。

令和 6年 11月1日(金)

飯山学校給食センター

【献立名】 長崎のにんじんごはん 牛乳
きびなごの南蛮づけ 小松菜のごまあえ
ヒカド

《今日の丸亀産の食材》
小松菜 チンゲン菜 葉ねぎ



【ひと口メモ】

長崎県の料理を味わおう

(食文化)

長崎県は、九州の北部に位置し、壱岐、対馬、五島列島など、多くの島があります。みかんやびわなどの果物の栽培が盛んです。また、にんじんは西洋にんじんの一種、黒田五寸にんじんの栽培が有名です。さらに、海に面しているため、魚介類もたくさんとれます。

江戸時代、中国とオランダの貿易船の出入りが、長崎に限って認められていました。この鎖国の時代に外国からさまざまな文化が伝わりました。長崎県では、料理においても、中国やオランダ、ポルトガルなど、異なる国の食文化をうまく取り入れ、独自の食文化を育ててきました。今日の給食のヒカドもその1つで、ポルトガル語で”刻む”という意味の「ピカルド」が転じて「ヒカド」と呼ばれ、長崎県の郷土料理として定着しています。よく味わって食べましょう。